



図46 過去1年間の歯科医院への受診率、日米比較 (資料提供：東京医科歯科大学川渕孝一教授)

年代別の問題と対策

幼児期：感染時期(2歳2カ月前後)

両親の教育を通して

自己健康観を形成する時期

対策一 両親の教育、食育

学童期：永久歯の虫歯発生しやすい ---- 予防処置

生活習慣の確立

対策一 学校と家庭で予防対策

かかりつけ歯科医

年代別の問題と対策 -2-

青年期：健康観は病気よりも、
美容、ファッション、口臭など社会生活に
関連したものが中心
生活習慣に問題生じやすい
対策—体液性感染の防衛策の教育
「白い歯」や「口臭」をモチベーションに
口腔衛生指導
学校や職場を通じた健康支援
メディア、企業、業界からの働きかけ



